



2023年4月28日

株式会社日本政策投資銀行

News Release

「サーチファンド・ジャパン第2号投資事業有限責任組合」の設立について

—中小企業の事業承継と経営人材の育成を支援—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、株式会社日本M&Aセンターホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三宅卓）及びキャリアインキュベーション株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荒井裕之）等とともに、投資事業会社である株式会社サーチファンド・ジャパン（以下、「当社」という。）が運営するファンド「サーチファンド・ジャパン第2号投資事業有限責任組合」（以下「2号ファンド」という。）に対して出資し、運営を開始しました。

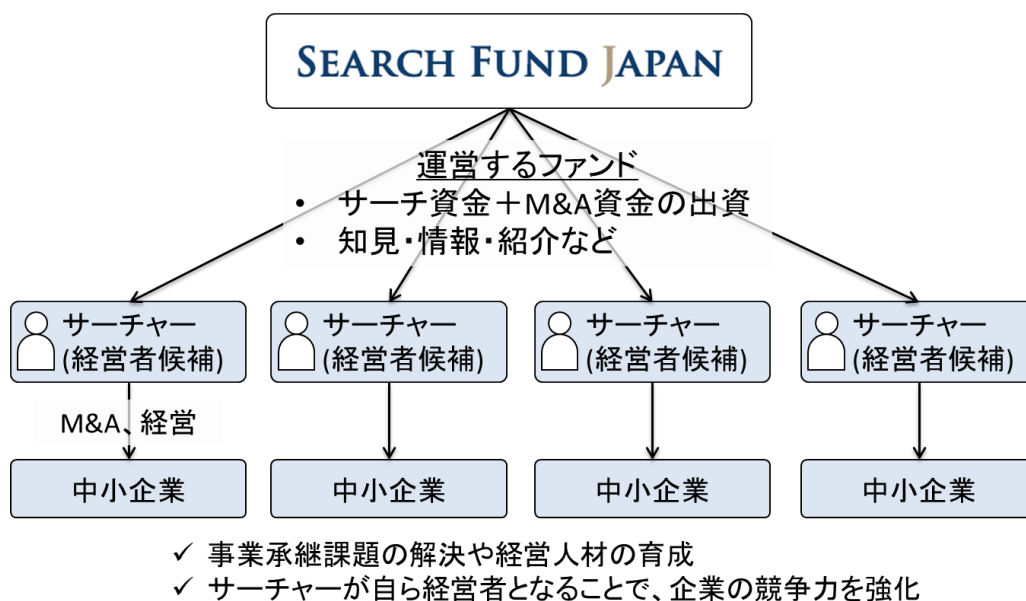
当社は、2020年11月にサーチファンド・ジャパン第1号投資事業有限責任組合（以下「1号ファンド」という。）を組成し、日本初の全国を対象としたサーチファンド形式の事業承継投資を推進してきました。1号ファンドでの投資の進捗状況、サーチャー候補者の応募数や中小企業への投資機会の拡大見込みを踏まえ、当社株主を中心とした投資家により2号ファンドの設立に至りました。2号ファンドは、本年後半にかけて、新規投資家の募集を幅広く行い、ファンド規模を拡大する予定です。

当社は、サーチファンドの普及を通じて、多くの優秀な人材が中小企業を承継し再成長させることによって、中小企業の事業承継問題の解決や経営人材の育成を促進し、日本企業の競争力を強化することを目指します。

本ファンドに対する出資は、中小企業の事業承継を契機とした若手経営人材の派遣等による経営革新を支援するものであり、DBJの「特定投資業務（注2）」の一環である「DBJスタートアップ・イノベーションファンド（注3）」を活用いたします。

DBJは、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金に係る市場の発展や競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【ファンドスキーム概要】



(注1) サーチファンドとは、サーチャーと呼ばれる個人が中小企業を M&A し、自ら経営者として企業の再成長を実現させる仕組みです。サーチャーは、まず M&A 候補企業の発掘/選定 (=サーチ活動) に必要な少額の活動資金を投資家から調達し、投資先企業が見つかった段階で M&A 資金を調達する二段階目の資金調達を行います。当初の資金調達額を抑えるこの仕組みにより、実績の少ない若手経営者候補も M&A を目指すことができ、投資家からみると低リスクで優秀な人材と投資先にアクセスできる可能性を得ることができます。

(注2) 民間による成長資金の供給の促進を図るため、国からの一部出資 (産投出資) を活用し、企業の競争力強化や地域活性化の観点から、成長資金を時限的・集中的に実施することを企図して設けられたものです。

(注3) 「特定投資業務」において、スタートアップの創出・育成、イノベーションエコシステムの構築等に向けた取り組みを推進するため設置した資金枠です。

【当社概要】

社名	株式会社サーチファンド・ジャパン (Search Fund Japan, Inc.)
代表取締役	伊藤公健
事業内容	サーチファンド形式での投資ファンドの運営
本社	東京都千代田区丸の内一丁目 8 番 2 号 鉄鋼ビルディング 24 階
設立	2020 年 10 月
資本金	2,000 万円(資本準備金を含む)
株主	株式会社日本 M&A センター、株式会社日本政策投資銀行、 キャリアインキュベーション株式会社、伊藤公健

【お問い合わせ先】

企業投資第 3 部 電話番号 03-3244-1351